



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地
Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604 <http://yahata-es.sado.ed.jp/>

やっぱりあいさつの声

校長 渡部 栄二

あけまして、おめでとうございます。平成28年。八幡小職員は、新しい気持ちと高い志で、教育に取り組む決意です。ご支援とご協力をお願いいたします。さて、冬休みには「あらたまった声」が聞けたでしょうか。3学期の始業式は、こんな話をしました。

声と言えば、一番大切なのは「あいさつ」です。1年の初めに、もう一度みなさんとあいさつの大切さを確認したいと思います。

このポスターは、いじめをなくすために5・6年生がつくってくれたものです。ここに書かれているように、いじめをなくすための標語をさがすと、あいさつが大切だという内容がたくさん出てきます。たとえば、このような標語です。

あいさつで 心の笑顔を 広げよう

あいさつは みんなの笑顔が 咲く言葉

あいさつで みんなの心が ぽっかぽか

あいさつは 笑顔にさせる エネルギー

あいさつで 心をつなぐ 笑顔の和

あいさつで 開こうみんなの 心のとびら

あいさつは とじた心を 開くカギ

あいさつは 心のメール あったか便

あいさつは してもされても あったかい

おはようと 言えば相手も ほら笑顔

あいさつは 言われる前に 自分から

なぜ、このようにみんなが「あいさつが大切だ」と考えるのでしょうか。

それは、心の弱い人は、あいさつができないからです。自分のことしか考えられない人は、この標語のようなあいさつをすることができません。

そして、大切なのは、今はまだ心が弱くても、あいさつをひびく声で言えるようになれば、心も強くなるということなのです。

ひびく声を出す、それがこの標語のように人のためになり、そのような行動によって脳が変わるのです。このようなあいさつをすると、エンドルフィンというホルモンが脳の中にいっぱい出ます。エンドルフィンは、どんな薬よりも心や体を健康にする万能薬です。また、息を一杯吸い、お腹から声を出す呼吸法は、内臓を強くします。特に新年の始まりの今。今から、ひびく声であいさつすれば、この1年、心も体も健康な、素晴らしい1年になることでしょう。

みなさんの、教務室でのあいさつは最高です。3歩入り、ひびく声であいさつし、そして頭を下げる。その姿には、いつも感心します。こんなに心を強くする行動はありません。せっかくだから、その回数をもっと増やしましょう。

登校中、出会った人にもひびく声であいさつしましょう。玄関で会った先生方にも、自分からあいさつしましょう。教室に入る時は、笑顔で友達にあいさつしましょう。

声で大切なのは、やっぱりあいさつの声です。

冬休みの間、みなさんのあいさつが響かず、この学校も寂しい思いをしていたでしょう。学校の空気にもしみこむように、あいさつの声を聞かせてあげてください。3学期の八幡小学校が、みなさんのひびくあいさつで、元気いっぱいになることを期待しています。

1・2学期に身に付けた声の力が本物なら、きっとあいさつという形でも発揮されるでしょう。1年のスタートに、あいさつで学校を、そして地域を明るくしてほしいです。



平成27年度後期 学校評価アンケート児童 結果

○各段階の%と得点化した平均です。 ↑は、前期より5%以上増加。 ↑は0.2ポイント以上向上

No.	評価項目	27年度前期 児童					27年度後期 児童				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	授業で学習していることが分かる。	85% ↑	11%	4%	0%	3.8	71%	23%	6%	0%	3.7
2	家庭学習は、計画を立てて、決めた学習をやりとげることができた。	75% ↑	23%	2%	0%	3.7 ↑	72%	26%	2%	0%	3.7
3	佐渡や地域の学習で調べ、まとめ、佐渡や地域を好きになることができた。	87% ↑	11%	2%	0%	3.8 ↑	85%	13%	2%	0%	3.8
4	学校は楽しいと感じる。	87%	13%	0%	0%	3.9	85%	11%	2%	2%	3.8
5	友だちに思いやりをもって接したり、やさしい言葉がけをしたりすることができた。	77% ↓	19%	4%	0%	3.7 ↓	73%	21%	6%	0%	3.7
6	すすんで運動をしている。	75%	17%	8%	0%	3.7	71%	21%	4%	4%	3.6
7	早起きをして、朝ごはんをしっかり食べている。	89% ↑	11%	0%	0%	3.9 ↑	87%	11%	2%	0%	3.8

2学期がんばった内容（抜粋）

- 1年：わたしが2学期がんばったことは、かん字です。はじめは一、二のすう字でかんたんでした。だんだんかん字がいっぱいになって、どんどんむずかしくなってきました。けれど、がんばってれんしゅうしていると、たのしくなってきた、テストのてんすうもよくなりました。
- 2年：テストで100点をとることをがんばりました。いっぱいとれて、よかったです。つぎに、一回もかぜをひかないですごせました。よかったです。また、けんかをしないこともがんばりました。けんかをしないでたのしくすごせたからよかったです。
- 3年：2学期、「自信をもつ」ことができました。一つ目は学習のことです。算数のテストで100点を取れたのが、とくにうれしかったです。二つ目は、生活のことです。やらなければいけないことを、さいごまでできるようになりました。じゅぎょうのかだいがおくれても、さいごまでやりきりました。やればできると思いました。
- 4年：2学期がんばったことは「いろいろなことに真剣に取り組む」ことです。（中略）二つ目は、げきです。文化祭や健康委員会のげきで、セリフを覚えたり、自分で動作をつけたりしました。本番ではひびく声で、役になりきることができました。みなさんには楽しんでもらえたでしょうか。3学期も、いろいろなことに真剣に取り組みたいです。
- 5年：1つ目は、大なわです。佐渡市大なわとび大会に出るために、みんなで練習しました。大会では、最後まであきらめずにとび続けたので5位になれました。二つ目は、音楽発表会です。夏休みからずっと練習をしてきました。アミューズメントの会場では、精いっぱい歌ってきました。地声ではなく、歌声で最後まで一生けん命歌えたので、よかったです。
- 6年：1つ目は、陸上です。私はハードルに出ました。毎日練習があって大変でした。でも、大会では自己新記録が出たのでよかったです。二つ目は、ダンスです。私は5・6年生の中でリーダーになりました。みんなをうまくまとめて、カッコイイと思えるようなダンスをおどれるように努力しました。悩んだところもあったけど、佐州國の舞では大成功だったのでうれしかったです。

お知らせ

佐和田地区青少年育成協議会では、次の講演会を企画しました。

平成28年1月25日（月）19:00～

「事例に学ぶインターネットの安心・安全な使い方」講師：GREE安全マネージャー

ネット接続ゲーム機の怖さを知り、子どもを守りましょう。ぜひご参加ください。



平成27年度後期 **学校評価アンケート保護者 結果**

○各段階の%と得点化した平均です。

No.	評価項目	27年度前期 保護者					27年度後期 保護者				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	学校は、授業を工夫し、子どもに国語・算数・理科・社会等の力をつけている。	36% ↓	61%	3%	0%	3.3 ↓	40%	54%	6%	0%	3.3
2	学校は、子どもや家庭への働きかけを通して、家庭学習の習慣化を図っている。	58% ↑	39%	3%	0%	3.6 ↑	54%	43%	3%	0%	3.5
3	学校は、地域の学習を推進し、郷土を愛し誇れる子どもを育てようとしている。	53% ↑	39%	8%	0%	3.4 ↑	60% ↑	31%	9%	0%	3.5
4	学校は、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に努め、子どもに学校生活を楽しく、安心して過ごせるようにしている。	58%	36%	6%	0%	3.5 ↓	58%	39%	3%	0%	3.6
5	学校は、友達に思いやりをもって接したり、優しい言葉かけをしたりできる子どもを育てている。	56% ↓	44%	0%	0%	3.6 ↓	49% ↓	48%	3%	0%	3.5
6	学校は、体育授業や運動の日常化を通して、子どもの体力向上を図っている。	69% ↓	28%	0%	3%	3.6 ↓	74% ↑	23%	0%	3%	3.7
7	学校の働きかけに協力し、家庭でも「早起き・朝ごはん」の習慣を身に付けさせている	47% ↓	50%	3%	0%	3.4 ↓	63% ↑	37%	0%	0%	3.6 ↑

保護者の意見の主な内容

- 学校はどう？と子どもに聞くと「勉強も運動も楽しい」と答えました。毎日笑顔で帰ってくる子どもの姿を見て、私たち保護者の気付かないところでの先生方の努力を感じています。
- 悪天候でも、子どもたちの登校を見守っていただき、感謝いたします。
- いつもきめ細かいご指導をいただき、ありがとうございます。
- こまめに学年だよりを出してくださるので、子どもたちの様子も分かり、ありがたく思っています。
- 2学期は陸上大会、マラソン大会、文化祭、音楽発表会など様々な行事がありましたが、子どもたちがそれぞれに向けてがんばっている様子が伝わってきました。また、地域活動の八幡祭、チューリップ作戦などに参加して、地域の方との触れ合いが多かったと思います。たくさんの行事に取り組んでこられたのも、先生方の指導のおかげだと思います。5・6年生の佐州國の舞、大なわとび大会もがんばったと思います。ありがとうございました。
- 2学期もほぼ終了時期になってきましたが、最近、鉛筆や消しゴム定規などの紛失があります。言葉や態度のいじめもあると思いますが、表面では分からないいじめもあると思います。多分、本人がどこかに忘れてくる場合もあるので、紛失=いじめと結び付けることはできませんが「もしかしていじめられているのかな」と…。心配しすぎかもしれません。
- 下校時などに、嫌な言葉を言う子がいるようです。先生の前だけ、いい態度でいるのだと思いました。
- ◎来年度の学級編成ですが、複式学級のないようにお願いしたいと思います。

平成27年度後期 学校評価アンケート3者評価比較

↑ 前期より向上 ↓ 前期より下降

No.	評価項目	児童	保護者	職員	結果・分析
1	授業を工夫し、子どもに国語・算数・社会・理科等の力をつけているか。	3.7	3.3	3.9 ↑	○職員の満足度に比べ、保護者の満足度は低い。
2	子どもに家庭学習の計画をやりとげられるよう指導・支援をしているか。	3.7	3.5	3.8 ↑	○職員の満足度が向上し、児童以上になった。
3	子どもに、郷土を愛し誇れる学習を行い、まとめる力をつけているか。	3.8	3.5	3.5 ↑	○児童の満足度が高く、職員も向上した。
4	いじめや不登校の未然防止に努め、子どもが楽しく安心して過ごせる学校にしているか。	3.8	3.6	3.8 ↑	○職員が向上し、3者とも、ほぼ満足している。
5	子どもに、友達に思いやりをもって接し、優しい言葉掛けができるように指導しているか。	3.7	3.5	3.7	○3者の評価が揃ったが、他の項目に比べ高いとは言えない。
6	体育授業の充実や運動の日常化によって、子どもの体力向上が図れるようにしているか。	3.6	3.7	3.8	○保護者・職員に比べ、児童の満足度が低い。
7	学校と家庭の連携によって、「早起き・朝ごはん」の習慣が定着するよう指導しているか。	3.8	3.6 ↑	3.6	○保護者の評価が向上し、3者がほぼ揃った。

比較した成果

- 児童は前期よりやや下降したが、満足度は高い。
- 保護者は前期とほぼ同じ評価。「朝の生活習慣」評価は向上した。
- 職員が前期よりも大きく向上している。特に「授業で力を伸ばしたか」が過去最高となった。

比較して検討したい内容

- 「授業に関する評価」が保護者と職員で大きく異なるのはなぜか。
- 「進んで運動・体力向上」に関して、児童だけが他の項目より低いのはなぜか。
- 「早起き・朝ごはん」の評価が、児童や職員に比べ保護者が向上したのはなぜか。



課題と改善策

- ① 「授業に関する評価」が保護者は項目の中で最も低い。保護者の信頼を得るにはどうすればよいか？
- ② 「進んで運動・体力向上」に関して、児童だけが他の項目より低いのはなぜか？改善策は？
- ③ 「鉛筆や消しゴム定規などの紛失があります。表面では分からないいじめもあると思います。」や「先生の前だけ、いい態度でいるのだと思います。」にどう答えるか。

- ① ・教科の力が付いている証拠として、テスト結果を定期的に保護者にも知らせる。
・学習参観で国算社理の授業を見ていただく。
・アンケートの文言を工夫する。
- ② ・進んで運動している自覚がない。体力が伸びていることを具体的な数値で子どもに示していく。
- ③ ・職員は常に危機感を忘れず、子どもの実態をよく見取る。
・保護者同士の情報交換、保護者と子どもの会話が増えるよう働きかける。
・持ち物の点検を定期的におこなう。